

## 泣いて、笑って、昭和の子育て 番外編2号/26.4.15

### ◆愛情こもった刺しゅうのイラスト

育児体験記を手にした多くの方から、「可愛いイラストですね」と感想をいただきます。この本を作成するにあたり、原稿にこめられた母の愛情が伝わるあたたかい本になるよう考えて選んだのが、刺しゅうイラストです。作者こうのみほこさんは、2歳の子の母親、おばあちゃん世代が使った日用品や玩具を資料とにらめっこしながら、一針ずつ針を進めて作成されました。体験記と合わせて味わってください。

### ■全国各地で新聞紹介 ラジオ放送に続いて、各地で新聞紹介も広がっています。

- ・配給制で食糧難やおしめの確保に悩まされた戦中戦後、保育環境のまだ整っていない高度経済成長期、懸命に子育てをしながら働く母親たちの姿がまぶしい。厳しい時代を地域で支え合い、子どもを育てた様子がうかがえる。いつの時代も子育ては「苦しくて楽しいことを先輩たちの体験記が教えてくれる。

(山梨日日新聞「図書室」4月5日)

- ・物資不足の時代に子育てをした世代は、「お金より物より、温かい親子のふれあいが大切」と感じた体験をつづった。上の子の赤ちゃん返りに悩み、授乳時間を活用して上の子に絵本を読み聞かせた思い出など、今の親にも参考になる。今は子や孫に囲まれて幸せだという人が多く、「子育ての後には幸せがある」「夢を持って励んで」とエールを送っている。

(読売新聞 4月8日)

### ◆読者のたより

- ・自分も子どもを3人授かり、過ぎし日と重なり、全国どこの母も同じ思いだなあと深く感じ、昔の苦勞に涙しています。命のバトンを渡せる幸せをかみしめています。

(滋賀県・77歳女性)

- ・この本を使って、孫夫婦に私たちの世代の話をしたいと思っています。(男性)
- ・今子育て中で6か月の子がいます。第1子で子育てもわからず、周りの人に助けってもらいながらです。やはり、相談相手は身近な夫よりも、頼りにしているのは60歳代の母親かもしれません。おばあちゃんはいくらにも高齢で話を聞けませんが、ぜひこの本で多くのことばを受けられたらなあと思いました。

(山口県・女性)

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

〒100-8917 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

電話：03-3581-5658 / ホームページ <http://www.zenrouren.com/>